

令和3年4月16日

普及センターだより

すいりくばんけい

# 水陸萬頃

第5号

奥州農業改良普及センター TEL: 0197-35-6741 FAX: 0197-35-6303  
いわてアグリベンチャーネット <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>



※水陸萬頃とは

「続日本書記」によると、胆江地域は「水と土地が豊かなところ＝水陸萬頃」と記されている。

## 新年度を迎えて

奥州農業改良普及センター  
所長 佐藤 明子

皆様、はじめまして。4月1日に着任しました佐藤明子と申します。どうぞよろしく  
お願い申し上げます。

さて、東日本大震災津波から10年が経過し、三陸沿岸道路があと僅かで全線開通見込  
みとなるなど、復興が進んできました。しかしながら、自然災害は恐ろしいもので、昨  
年12月の大雪が、この地に甚大な被害をもたらしました。被害に遭われた方々に衷心よ  
り御見舞い申し上げます。

また、昨年度は、新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年でもありました。現在  
もこの感染症と付き合いながら、生活をしていかなければならない状況は続いています。  
マスク着用や丁寧な手洗い、3密の回避等の基本対策を徹底するとともに、まん延防止  
等重点措置等の発令等による農畜産物の需給動向を注視していきたいと思えます。

必ずや事態が収束し、社会経済情勢が回復する日が到来します。それまで、創意工夫  
を凝らし、生産者の皆様と関係機関・団体が一丸となって、安全・安心で高品質な農畜  
産物の生産に取り組んで参りましょう。

いよいよ農作業も本格化し、田んぼも畑も賑やかになってきました。3密を避ける観  
点からも、電話やFAX、メール等での相談も可能です。何かお困りごと等ありました  
ら、遠慮なく御相談ください。生産者の皆様、御一人御一人の経営目標が達成できるよ  
う支援をして参ります。

なお、普及センターでは、今回の人事異動により、新採用職員を含む8名が加わり、  
若手からベテランを含む21名の職員が、それぞれフレッシュな気持ちで普及活動を展開  
しています。1年間どうぞよろしくお願いたします。

# 令和3年度 奥州農業改良普及センター活動体制

所長 佐藤 明子

## 経営指導課

経営指導課長 小田中 浩哉

### 課員 (7名)

#### <農業経営グループ>

上席農業普及員	佐藤 千秋	(総括・水稻大豆・経営体育成)
上席農業普及員	星 伸枝	(花き・経営体育成)
主査農業普及員	佐藤 美和子	(野菜・経営体育成)
技師	齋藤 菜々子	(野菜・経営体育成)

#### <畜産経営グループ>

上席農業普及員	小川 音々	(総括・畜産・経営体育成)
上席農業普及員	千葉 彩	(畜産・経営体育成)
農業普及員	羽田 雅紀	(畜産・経営体育成)

## 産地育成課

技術主幹兼産地育成課長 佐々木 洋一

### 課員 (4名)

上席農業普及員	阿部 洋	(総括・果樹)
主任農業普及員	佐々木 裕二	(野菜)
農業普及員	鈴木 涼介	(水稻・大豆)
技師	佐々木 絢菜	(果樹)

## 地域指導課

地域指導課長 長谷川 聡

### 課員 (5名)

上席農業普及員	千葉 守	(総括・集落営農)
主査農業普及員	安部 宏美	(担い手確保育成・花き)
農業普及員	村上 大樹	(新規就農・野菜)
技師	佐藤 亮太	(新規就農・6次化・果樹)
主任行政専門員	安部 弘明	(庶務)



# 転入者の紹介



氏名 佐藤 明子 (さとうあきこ)  
 役職 所長  
 前所属 県北広域振興局農政部



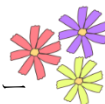
氏名 佐々木 洋一 (ささきよういち)  
 役職 技術主幹兼産地育成課長  
 前所属 二戸農業改良普及センター



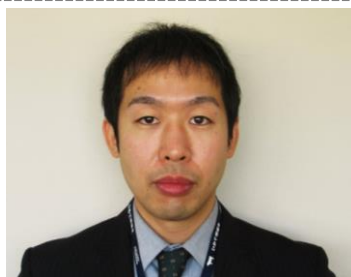
氏名 阿部 洋 (あべひろし)  
 役職 上席農業普及員  
 前所属 大船渡農業改良普及センター



氏名 星 伸枝 (ほしのぶえ)  
 役職 上席農業普及員  
 前所属 中部農業改良普及センター  
 遠野普及サブセンター



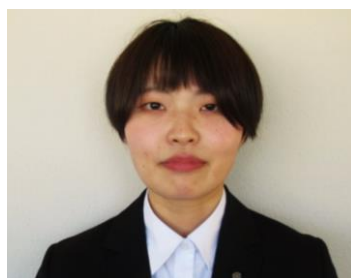
氏名 千葉 彩 (ちばあや)  
 役職 上席農業普及員  
 前所属 県庁畜産課



氏名 羽田 雅紀 (はねだまさき)  
 役職 農業普及員  
 前所属 畜産研究所種山畜産研究室

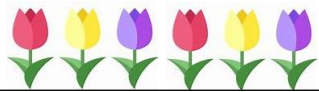


氏名 佐藤 亮太 (さとうりょうた)  
 役職 技師  
 前所属 沿岸広域振興局農政部



氏名 齋藤 菜々子 (さいとうななこ)  
 役職 技師  
 前所属 新採用





# 転出者の紹介

大変お世話になりました



氏名(役職)	転出先
加藤 満康(所長)	宮古農業改良普及センター
伊藤 勝浩(技術主幹兼産地育成課長)	八幡平農業改良普及センター
佐藤 成利(上席農業普及員)	中部農業改良普及センター遠野普及サブセンター
増田 隆晴(上席農業普及員)	中部農業改良普及センター遠野普及サブセンター
川守田 真紀(上席農業普及員)	農林水産部農業普及技術課
松橋 伊織(農業普及員)	県農業研究センター
織笠 千夏(農業普及員)	農林水産部農業振興課
工藤 大和(農業普及員)	県農業研究センター畜産研究所種山畜産研究室

## 【水稻】適切な水温・ハウス内温度管理で健苗育成を！

育苗期間の病害を予防するため、育苗期間中の温度は25℃以下を目安に管理し、特に緑化期の温度管理(日中20～25℃)を徹底しましょう。特に、新しいハウスの場合は、ハウス内の温度が上昇しやすいため、緑化期以降はハウスサイドを開放する等の管理に努めましょう。

「プール育苗」の場合は、  
図1を参考にして、適切な水位を保ちましょう。  
水が少ない状態が続くと、  
病害の発生が懸念されます。

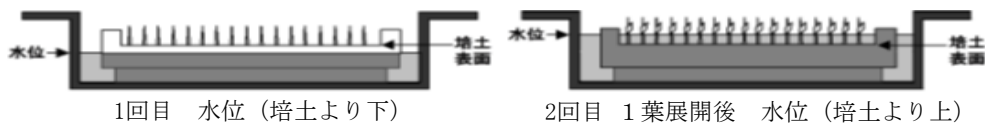


図1 プール育苗での水管理技術(岩手県稲作指導指針から一部抜粋)

## 春の農作業安全月間が始まっています！

これから農繁期を迎えます。県では、4月15日から6月15日までを「春の農作業安全月間」とし、農作業事故防止を呼びかけています。安全防護用具の着用、機械の点検、子どもを農業機械に近づけないなど、事故防止を徹底してください。「全集中 ゆとりの呼吸で 安全作業」のスローガンのもと、余裕を持って農作業を行いましょう。

## 「あなたです 森を火事からまもるのは」山火事防止にご協力ください！

春は空気が乾燥し、風の強い日が多いため、山火事が起きやすい時期で、過去には県内でも大規模な林野火災が発生しています。3月1日から5月31日までは「岩手県山火事防止運動月間」です。以下の事項を徹底し、山火事防止にご協力ください。

- (1) 強風時及び乾燥時には、たき火、野焼き、火入れをしない
- (2) 燃え広がりやすい枯れ草等のある場所では、たき火、野焼きをしない
- (3) たき火や野焼きの場所を離れるときは、完全に消火する
- (4) たき火や野焼きは一人で行わず、水など消火の備えをする
- (5) たき火、野焼き、火入れをするときは、消防署に届け出る
- (6) 火入れを行う際は、市町村長の許可を必ず得る
- (7) たばこは、指定された場所で喫煙し、吸い殻は必ず消し、投げ捨てない
- (8) 火遊びはしない



新型コロナウイルス感染症に係る農林水産相談窓口を県南広域振興局農政部(0197-22-2841)および  
奥州農業改良普及センター(0197-35-6741)に設置しています。

また、昨年末の大雪被害に関する技術対策の相談にも対応しています。